科学の祭典2024・名古屋大会

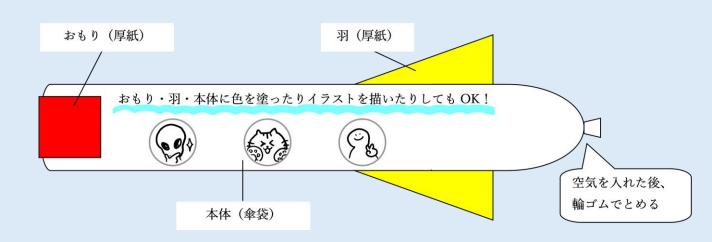
出展内容の紹介

ブース番号1~10

※ ブース番号に〇がついているブースは、 整理券が必要です。

1 傘袋ロケットをつくろう

スーパーやショッピングモールの入り口に置いてあるような傘袋に絵を描き、空気を入れて、オリジナルのロケットを作って飛ばします。たくさん遊んだり、時間が経ったりすると空気が抜けてしぼみますが、再度空気を入れれば何度でも遊ぶことができます。ぜひ会場で作り、たくさん遊んでみてください。



2 回転する実やたねのふしぎ

風を利用して、回転したり、滑空したりしながら、遠く まで飛ぶ実や種。自分で動くことができない植物には、生 きるための仕組みがあります。植物の種子が風を利用して 遠くへ広がる仕組みを、紙の模型を作って体験します。









惑星はどう見える

太陽の周りには地球の兄弟星(惑星と呼びます)が8つ 回っていることを知っていますか?その中で、金星は月の ように満ち欠けをします。土星の環は見えなくなることも あります。なぜでしょう。望遠鏡で見られる惑星の見え方 の変化を、模型を使って星たちの動きから解き明かしてみ

ましょう。 地球から見える 星(惑星)も実は形が変わって 見える、そんな変化を感じてく ださい。

《10月5日(土)には、科学館 天文台にて「昼間の星をみる会」 が開催されます。晴れていれば 実際の金星の変化が見られます。》



瞬間接着剤を使った工作

整理券 ×

東亞合成のブースでは、瞬間接着剤アロンアルフアを 使って工作体験ができます。ボルトやナットを使ってプロ ペラ機を作ってみましょう。アロンアルフアは、硬化速度

が速く、強力に、幅広い素材 を接着することが可能です。 だから、補修だけでなく工作 にもおススメです。ただ、使 い方には「こつ」があります ので、それをマスターして工 作を楽しみましょう。



⑤ ビスマス結晶をつくろう!

※ 整理券

ビスマスという金属を溶かし、 結晶をつくります(危険なので 講師が行います。)結晶の色や 形は毎回違うものができます。 参加者は、できた結晶をケース に飾りつける作業を行います。



6 物体が浮くってどういうことだろう ~ものの密度~

「物体が浮くってどういうことだろう?」 ことだろう?」 それをサツマイモやきゅうりなど、身近な野菜を使って 一緒に考えます。



7 あつくなる変化・つめたくなる変化

愛知県の高校教師でつくる実験サークル「MOLの会」です。今年の科学の祭典では、酸化反応を利用したあつくなる変化と溶解熱を利用したつめたくなる変化を実験で体験してもらいます。



⑧ DNAを見てみよう

※ 整理券

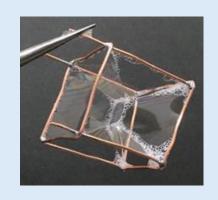
生物のからだは、小さな細胞が集まってできています。その細胞には、生物のからだの設計のである DNA があります。野菜(ブロッコリーなど)の細胞かま菜(ブロッコリーなど)の細胞かまでしまり、ここでは、家庭では、実験を体験します。



9 シャボン膜と表面張力

シャボン玉が丸いのはなぜでしょう?シャボン玉が七色に見えるのはなぜでしょう? 丸くなるのはシャボン膜の「表面張力」、七色に見えるのはシャボン膜の「薄膜干渉」が関係しています。実際にシャボン膜を作り、その性質を調べてみましょう。







10 かんたん!化石の レプリカをつくろう

三葉虫とアンモナイトの「化石のレプリ カ(複製)」をプラスチック樹脂を使って

作ります。プラスチック 樹脂をお湯で熱して柔ら かくした後、化石の型に 押し込みます。水で冷や して型から外せば「化石 のレプリカ」の完成です。



